



公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メールマガジン Vol.15 2018/3/15



いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。

さて、本日 3 月 15 日は靴の日のようです。

日中は気温も暖かくなり、春の行楽にも最適ですね。

こんな日はお気に入りの靴を履いてお出かけしてみてもはいかがでしょうか。

### ★——INDEX——★

- [1] 【役員コラム】 歳を重ねることは誰でも未体験ゾーン
- [2] 【開催報告】 小型航空機セーフティセミナーを終えて
- [3] 【航空豆知識】 AOA (Angle of Attack) 表示システムが小型機にも
- [4] 【3 月-4 月】 JAPA 主催 セミナー・イベントの予定



- [1] 【役員コラム】 歳を重ねることは誰でも未体験ゾーン  
専務理事 根本 裕一



弥生・卯月 この時節は特別な季節。

合格発表や卒業式、入学・入社式、親しい友との別れや新たな  
出会い、梅の花や桜吹雪等々。

時の流れを特別なものとして受け止めていた青春の頃を思い出します。

今は・・・と言えはルーティンの中に単なる時間として淡々と過ぎゆく  
ものに変わってってしまったことに一抹の寂しさを感じるとともに、  
歳を重ねたことをしみじみと味わっています。

——— 知識と経験。

副操縦士や機長への昇格時、定期審査等ではこの 2 点が必ず問われます。

また知識の中には経験に基づく知識というものもあります。

すなわち航空機の運航は知識だけではなく経験が相当量必要とされるのです。

審査後のコメントや先輩からのブリーフィングで「知識と運航が

結びついていない」と言われることがありますが、この言葉は安全運航

を行う上での最重要キーワードです。

これから副操縦士や機長を目指す方々、趣味として大空を楽しむ自家用操縦士の皆様、そして機長の仲間等に共通して必要な要素が「知識を運航に活かす」ということであり、その媒介が「経験」なのです。

是非この言葉を自分自身の言葉として咀嚼し、理解して下さい。

感動が少なくなった今日此の頃、歳を重ねること＝経験といえるような日々を送ることを今年の目標としている還暦爺からの一言でした。

★

[2]【レポート】小型航空機セーフティセミナー開催報告  
ビジネス航空委員会

★

3月5-6日、第15回小型航空機セーフティセミナーが天王洲アイルにある野村不動産天王洲ビル ウイングホールにて開催されました。

2日間で会員156名、一般129名、合計285名が参加され、盛況の内にセミナーを終えることができました。

講師や関係者、全国各地より足を運んでいただいた参加者の皆様に心より感謝申し上げます。

今回のセミナーが皆様の安全運航に寄与することを願っています。

また、参加者の皆様にはアンケートをご記入頂いたこと、重ねて御礼申し上げます。

頂いたご意見は運営に携わったビジネス航空委員会及びJAPA事務局にとって励みになると共に、今後のセミナーに反映できるよう検討を進めたいと思います。

次回セミナーは2019年1月~3月初旬の開催で検討中です。

会場は、希望者全員が参加できるよう広めの会場を選定したいと思います。

そのため料金値上げが想定されますが、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

尚、小型航空機セーフティセミナーに関連する情報は、JAPAホームページ、

当メルマガを通じて皆様にお知らせする予定です。

ご意見等ありましたら、JAPA 事務局宛 ([japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)) メールをお寄せ下さい。

どうぞ宜しくお願い致します。

★

[3] 【航空豆知識】 AOA (Angle of Attack) 表示システムが小型機にも

★

ご存じ、AOA 表示システムは迎え角を無名数の数値でパイロットに示すものです。

近代のジェット輸送機、ビジネスジェット機には空力コンピュータの信号として、また飛行情報の一要素として PFD に表示されます。

また失速マージンの厳しいアプローチをするデルタ翼機/超音速機や、着地点の制限を受ける艦載機などは、パイロットが AOA の指示に従ってアプローチ速度を維持します。

V<sub>th</sub>(滑走路末端の通過速度)などを事前に見出す必要はありません。

システムは迎え角検知器 (翼に設置された矢羽根)、指示器(コクピットの PFD か独立計器)、エアデータコンピュータで構成されます。

機体が低速で失速が迫っているときに AOA が増すと、LED の 2 つの赤いライトが点滅、音声でも警報を出します。

検知器は重量、G、脚、フラップ形態、C.G.、機体の滑りに関係なく正しい信号を出すので、旋回中でも失速からのマージンが分かります。

上昇、巡航、アプローチでの参考 AOA をパイロットが操作しやすいように、あらかじめ設定しておけば計器盤上の LED ライトが案内してくれます。

AOA は低速時の警報、短距離離陸のような失速近くでの飛行、最大進出、最大航続距離の見出しなど風を考慮した巡航や上昇にも使えるので、定期航空では経済的な運航にも役立っています。

尚、FAA の要求を満たした G 社製の小型機用キットは Beechcraft A36 型機には標準装備されるとのことです。

★  
-----  
[4] 【3月-4月】 JAPA 主催 セミナー・イベントの予定  
★  
-----

これから計器飛行証明を取得しようとする方、  
IFR の知識を得たい方におすすめの講座です。(全 8 回開催)

- ・ 第 6 回 IFR 学科講座 2018 年 3 月 17 日(土)＜東京＞
- ・ 第 7 回 IFR 学科講座 2018 年 4 月 21 日(土)＜東京＞NEW
- ・ 第 8 回 IFR 学科講座 2018 年 4 月 22 日(日)＜東京＞NEW

[https://sites.google.com/a/japa.or.jp/ifr\\_lecture/](https://sites.google.com/a/japa.or.jp/ifr_lecture/)  
-----

2018 年度のイベント、セミナーについては HP に掲載後、  
改めてご案内をさせていただきます。

\* \* \* \* \*

★次回の配信は 4 月初旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法  
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

-----  
【発行】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp>  
-----